

☆質問を受けた場合は？

わかることには親切に答え、わからないときには無理して答えないようにしましょう。次までに調べてくる旨を伝えたり、必要によっては、牧師を招きましょう。グループで研究する場合も、メールマン方式伝道と同じように教会員は教師ではありません。研究生と一緒に学ぶ姿勢で誠実に対応しましょう。また、熱心な方には、聖書や福音社発行の本をお貸しするという方法もあります。

☆研究生の進捗表記入について

進捗表を必ずつけるのはもちろん、模造紙で大型チャートを作り、教会員のみなさんが見ることが出来る場所に貼ってみてはどうでしょうか。研究生が礼拝出席すれば喜びも大きくなりますし、修了間近の人がいれば修了式を計画することもできます。研究生の名前をあげて祈ることもできます。ただし、これを研究生自身が見た場合、不快感を感じないようにする配慮も必要です。



教会出席に結びつけるための提案

☆教会の行事（バザー、クリスマス会、講演会など）や礼拝に誘ってみましょう。その場合は、一緒に研究しているグループの教会員がお世話しましょう。初めて教会においでになった方でも、自然にとけこむことができます。

☆この教材の研究だけで終わるのではなく、聖書の研究を続けていただくようにお勧めいたしましょう。家庭集会や小グループでの他の教材を使って聖書研究や、牧師との聖書研究などにお誘いするなど、いくつかの方法が考えられます。

※必要でしたら、各教会でコピーしてご利用ください。メールマン方式伝道やグループでの研究方法について、もっと詳しくお知りになりたい方は、各教会に「メールマン方式伝道マニュアル・詳細版」をお送りしておりますので、あわせて、ご覧ください。

あなたも グループで研究 してみよう !!

「10億枚の招待状」プロジェクトがはじまります。

VOPバイブルスクール（預言の声）本部での郵送による講座の研究やインターネットを使ったホームページでの研究に多くの申し込みがあると思いますが、直接、皆様の教会に研究を申し込まれる方もおられるはずで。招待状にこたえて、聖書の学びへの申し込みをしてくださったそのような方に対して、教会ではどのように対応できるでしょうか。

その方法の一つが、メールマン方式伝道です。これは、9月に開講予定の新しいVOPバイブルスクール教材を用いた教会でのバイブルスクール運営の一つの方法です。

また同じ教材を用いて、グループで研究することもできます。これは、新しい伝道方法ではありません。既存の家庭集会や小グループなどに、新しく聖書の学びを希望している方も加わっていただき、一緒に聖書を学ぶための方法の提案です。もし、そういうグループがないという教会は、この機会にはじめてみては、いかがでしょうか。

各教会にこの教材の他に、「メールマン方式伝道マニュアル・詳細版」と、「メールマン方式伝道マニュアル・簡易版」をお送りしております。ぜひ、皆様でお読みいただき、貴教会の伝道にお役立てくださいますよう、お願いいたします。

まず何からはじめたらいいのでしょうか

1 教会として、バイブルスクール係（最低2人）を決めましょう

☆教材を準備しましょう

使用する教材はVOPバイブルスクールが通信講座として使用しているものと同じです。グループで研究する場合も、メールマン方式でも、この同じ教材を使用します。メールマン方式で研究する数も合わせて、教会ごとの必要部数を事前にまとめて、VOPバイブルスクールに注文し、準備しておきます。また、教材や進度表をおく場所を決め、だれにでもわかるようにしておきましょう。

☆研究生の進度表を整理しましょう

メールマン方式の場合と同じように、研究生の名前、進度の他に、グループに参加している教会員の名前等がわかるように表を作って、整理しておきましょう。

☆修了証書の発行をVOPバイブルスクールに申請する

研究生が講座を修了したら、修了年月日、教会名、修了者名等をVOPバイブルスクールにお知らせください。教会に修了証書をお送りします。

2 コツは、新しいVOPバイブルスクール教材と一緒に勉強すること！

新しくVOPバイブルスクールから発行される教材を用いた研究です。聖書を研究したいと希望しておられる方と一緒に、勉強してみてください。共に学び、感じたことを分かち合うことで、よい人間関係を築くことができます。

グループで研究をしましょう

☆特別な資格は必要ありません

☆バイブルスクール教材を研究生と一緒に勉強しましょう

聖書を研究したいと希望している方と一緒に、勉強してみてください。難しい部分があったら一緒に調べたり、感想を述べ合ったりすることによって、楽しく学ぶことができます。

☆数人のグループで研究しましょう

教会に既にある家庭集会や小グループに、求道者を招いて、一緒に勉強しましょう。もし、そういうグループがない場合は、教会員2、3人が主体になって、それぞれ1人ずつ、まだ教会に来ていない友だちを誘って研究してみてもいいでしょうか。

招待状を見て申し込まれた方が、個人ではなく、グループでの研究を望まれた場合は、メールマン方式ではなく、近所に住んでいる教会員が中心になってグループを作り、勉強することもできます。

☆定期的に研究しましょう

まず研究する日時を決めましょう。例えば、毎週木曜日の午後2時からというように、最初に日時を決めることが重要です。不定期ですと、研究に参加する意欲が失われがちです。

☆答えを書きましょう

読むだけではなく一緒に答案用紙に答えを記入しましょう。

☆答え合わせを一緒にしましょう

勉強した後に、一緒に答え合わせをしましょう。模範解答は、VOPバイブルスクールから教材と一緒に各教会にお送りいたします。

☆研究生の進度表に記入しましょう

記録がないと、何人の申し込みがあり、何人研究生になっているのか、だれが何課まで進んでいるのかわからなくなります。

心がける点と注意する点

☆人間関係を作ることが一番

研究生との個人的人間関係を築くことが成功のひけつです。

☆1度に1課ずつ学びましょう

研究生によく内容を理解していただくために、まとめて数課学ぶのではなく、1課ずつ研究しましょう。

☆輪読しながら一緒に学ぶ場合は

輪読方式の場合、人前で朗読することを非常に嫌う人がいることも忘れてはなりません。宗教用語・キリスト教用語に接したことがなかったり、漢字が読めなくて人前で恥ずかしい思いをしたりすると、出席しなくなることもあるでしょう。リーダーは十分注意する必要があります。